



【ボトルフラワー講習会】

花の命は短いもの。美しい盛りを長く鑑賞するために生花を乾燥し、アレンジする技術を学びました。驚くほど素敵にできました。身近な草花を生かす方法を発見し、作品作りのアイデアが広がります。

【林業センター公開デーに参加】

森林の大切さや木の良さ等を理解していただくために林業センターの公開デーが開催されました。

私達は山村文化を味わっていただくために、つば釜でご飯を炊いて、夏野菜たっぷりのカレーを作りました。日光ブランドのヒミツ豚も入って好評でした。



【クラフト教室実施】

木の実や小枝を使ったクラフト教室は子ども達にとっても人気です。

私達は山から木の実や小枝を集めてきます。木の実といっても様々な形をしていて、子ども達にどんなふうに使われるのか想像しながら楽しく拾っています。



私達は身近に山がある生活を送っています。自然の素晴らしさも自然の脅威も一番身近に感じることができます。私達がこれまで暮してきた中では近代化、工業化された恩恵を受け、便利な生活を送ることができています。しかし近年は自然の猛威に驚かされることばかりです。もっと環境に配慮した生活を送らなくてはならないと切に感じます。身近な資源を利用して持続可能な社会になってほしいと思って活動しています。

こもれびの会便り

平成 26 年 2 月 発行 栃木県林業振興協会女性部



那珂川町小砂地区「日本で最も美しい村」連合加盟地域の視察研修 H25.7.26

私たち「こもれびの会」(栃木県林業振興協会女性部)は森や里の素晴らしさ、環境教育の大切さを伝えると共に、林業の重要性、木の文化を守り伝えることなどを目的として活動しています。

自然の森の豊かさを体験できたらと身近にある木の実や小枝でクラフト教室を開催したり、草花のボトルフラワー講習会や寄せ植え&苔玉講習会などの研修会を通して自己研鑽にも努めています。

今年度は初めての試みで、若い人たちに山を知っていただこうと農林系学部の大学生を対象に林家ステイを実施しています。どんな出会いが待っているか楽しみです。



栃木の山の暮らし



県南部の佐野市で杉林を利用した葉わさび栽培や、山や公園で見つけた木の実や小枝を使って小物作りをしています。地元のイベントでは手づくりの小物を販売したり、親子クラフト教室を開催、リース作りが人気でした。

3月になるとみかも山のカタクリの花が咲き始めます。自然の美しさを是非感じてください。

佐野市 新井秀子



県北那須地域は山々に囲まれ、いくつもの沢から清らかな水が生まれ生活の源となる。春には草木が芽吹き色とりどりの花が咲き、夏の那珂川には鮎が躍り、秋は紅葉・きのこなどの豊富な山の幸、冬は雪景色に包まれながらスキー。四季折々の自然の移ろいを感じる事が出来る県北の地に一度身を置いてみませんか。春ももうすぐです。

大田原市 屋代ゆき子



県東部の茂木地区は日本の原風景といわれる里山が広がる地域です。雑木林はきれいに手入れされ、さらった落ち葉は堆肥として利用されるなど、里山の恵みと共に生活しています。

女性会では、毎年、山の恵みを利用したものの作りに挑戦しており、今年はこけ玉作りをしました。素敵な作品となり、改めて山野草のすばらしさを実感しました。

茂木町 瀬尾 恵子



日光地区の女性部では山の恵みであるきのこを使った健康なおやつを考えました。子や孫に食べさせたい本物の味をと、地粉を使った「きのこおやき」と「きのこ饅頭」を作って試験的に「日光そば祭」で販売しました。売上金全額25,770円をWFPフィリピン台風災害基金に寄付いたしました。

日光市 大嶋久美子

栃本の木のある暮らし



家庭で木づかい

木のぬくもりを感じる暮らしって

キモチいいね。

木の香りにはイライラを抑えて、
心と体をリラックスさせる働きがあります。
この成分が芳香剤や入浴剤にも使われています。

(詳細は「木づかいブック」活木活木(いきいき)森ネットワークHPをご覧ください)



栃木県は、北部の日光・那須の山々から南部の平野まで、緑の美しい自然に恵まれ、県の面積の約半分が森林です。

森林でリフレッシュした体験をお持ちの人も多いと思います。この効果は「フィトンチッド」と呼ばれる森林の香りです。森林の木々が、木材になっても効果は持続します。私たちが育てているこの森林を、ぜひ、体感してください。

栃木県林業振興協会 会長 齋藤 正

お問い合わせ先：栃木県林業振興協会 HP またはメール

tochirinshin@moritomegumi.com